
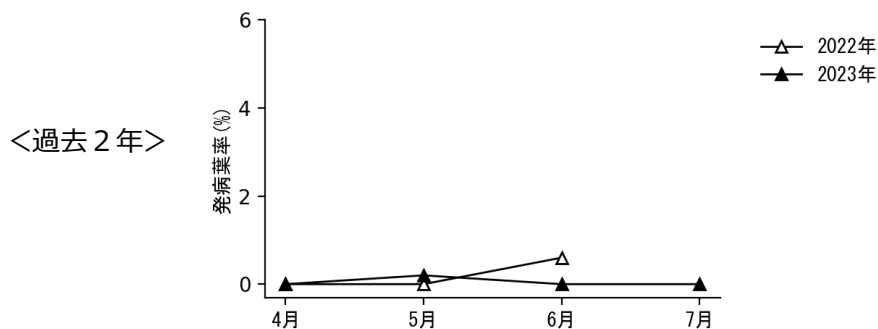
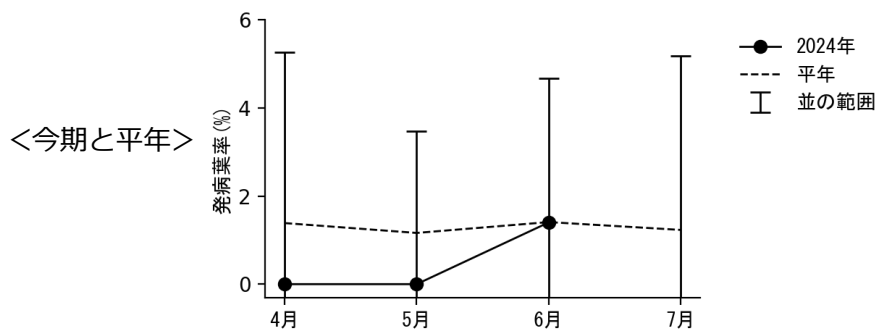


作物	オクラ	地域	宮古群島
病害虫名	① うどんこ病		
調査結果	6 月の発生量 (平年比)	並	
予 報	6 月からの増減傾向	→	
	7 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	

調査結果


発病葉率の推移



・発生ほ場率20.0% (平年 : 12.2%)

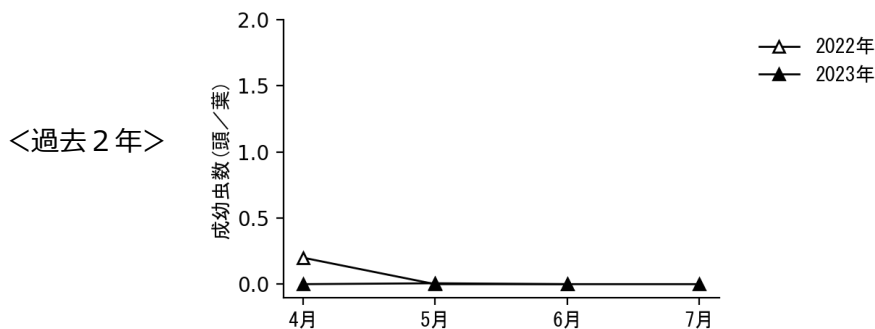
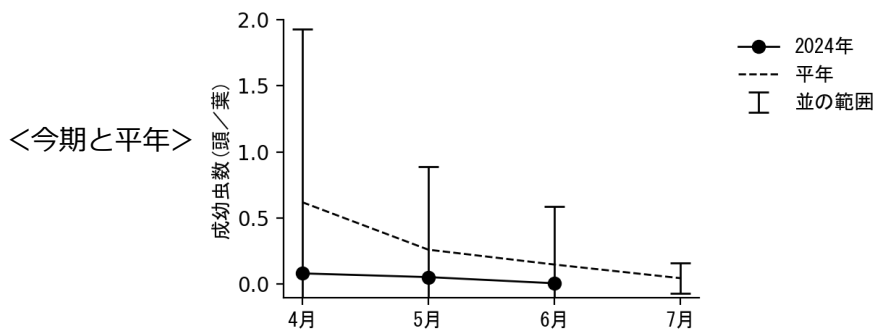
防除のポイント

- ・窒素過多にならないようにする。
- ・草勢を維持し、適切な施肥管理を行う。
- ・下位の罹病葉や残葉は速やかに除去し、風通しを良くする。
- ・被害葉を除去し、適宜薬剤散布を行う。

作物	オクラ	地域	宮古群島
病害虫名	② アブラムシ類		
調査結果	6 月の発生量 (平年比)	並	
予報	6 月からの増減傾向	↘	
	7 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↘)	

調査結果


成幼虫数の推移



・発生ほ場率20.0% (平年 : 20.4%)

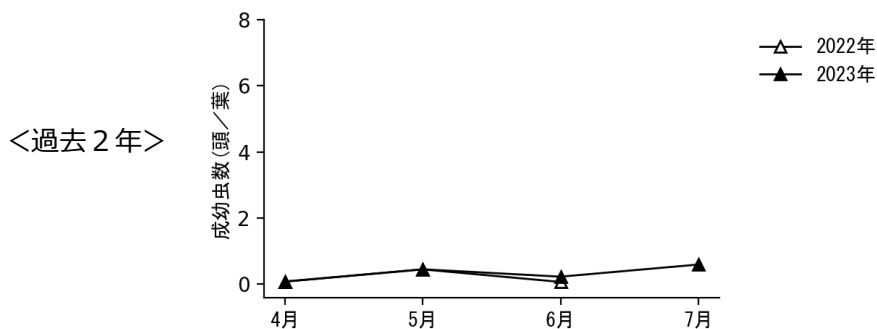
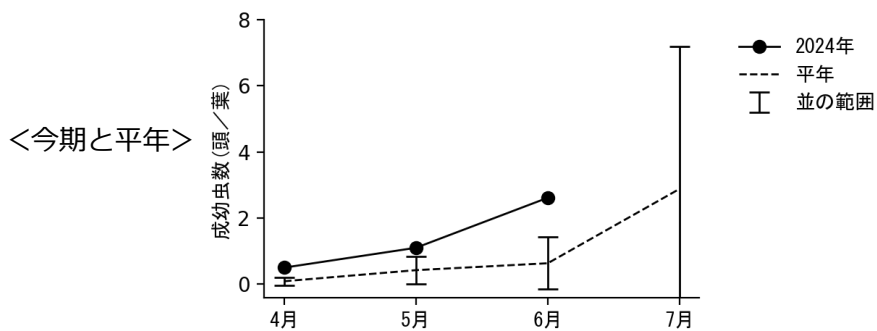
防除のポイント

- ・発生源となるほ場内外の雑草を除去する。
- ・多発すると新葉の萎縮や芯止まりにより生長が阻害されるため、葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。

作物	オクラ		地域	宮古群島
病害虫名	③ フタテンミドリヒメヨコバイ			 成虫
調査結果	6 月の発生量 (平年比)	多		
予報	6 月からの増減傾向	↗		
	7 月の発生量 (平年比)	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)		

調査結果

成幼虫数の推移

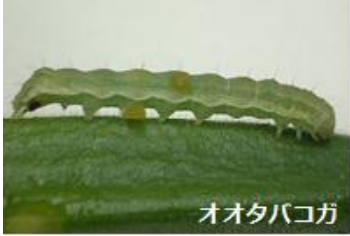


・発生ほ場率100% (平年 : 67.3%)

防除のポイント

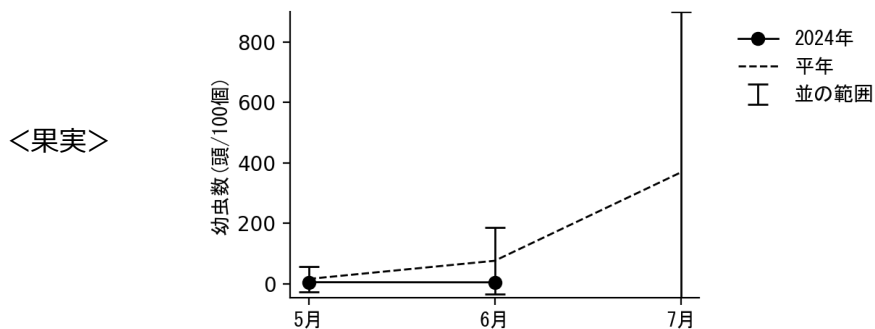
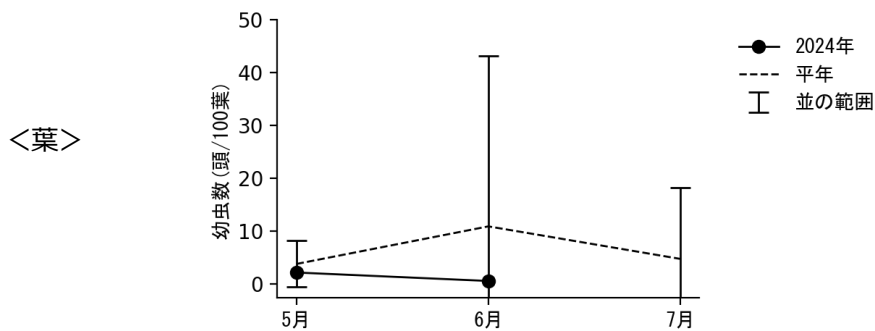
・多発すると被害葉は黄変萎縮するので、葉裏を観察し、早期発見・防除に努める。



作物	オクラ	地域	宮古群島
病害虫名	⑤ チョウ目幼虫		
調査結果	6 月の発生量 (平年比)	並	
予報	6 月からの増減傾向	↓	
	7 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↓)	

調査結果

幼虫数の推移 (今期と平年)



- ・発生種：
- ・発生ほ場率40.0% (平年：30.6%)

防除のポイント

- ・発生密度が低い場合は、捕殺が有効である。
- ・食害痕を発見したら、速やかに薬剤を散布する。

